

## 第1回あかしSDGs推進審議会（議事要旨）

日 時	2020年(令和2年)2月3日(月) 10:00~12:00
場 所	明石市役所 議会棟2階 大会議室
出席者	坂下会長、中野副会長、井上副会長、伊藤委員、岩村委員、小河委員、川島委員、川下委員、菊井委員、坂口委員、崎野委員、竹内委員、堂本委員、西海委員、フェア委員、松原委員、松本委員、宮川委員、森川委員、涌井委員
報告・審議事項	(1) 本市の状況（好循環）について (2) 「(仮称)あかしSDGs推進計画（第6次長期総合計画）」の策定（概要）について (3) 第5次長期総合計画の検証について (4) 「(仮称)あかしSDGs推進計画（第6次長期総合計画）」の考え方について
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料1</span> 本市の状況（好循環）について</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span> (仮称)あかしSDGs推進計画（第6次長期総合計画）の策定（概要）について</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料3</span> 第5次長期総合計画の検証について</li> <li>・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料4</span> (仮称)あかしSDGs推進計画（第6次長期総合計画）の考え方について</li> <li>・ 新年度予算案の基本的な考え方（1/27新年度予算編成状況説明会資料）</li> </ul>
事務局	泉市長、宮脇副市長、横田局長、政策局政策室

### 1 開 会

### 2 委嘱状交付

### 3 市長あいさつ

#### （市長）

- ・ あかしSDGs推進審議会の委員をお引き受けいただいたことに厚く御礼を申し上げます。
- ・ 配布資料の「新年度予算案の基本的な考え方（案）」について、「元気なまち明石の“今”」として現況を記載をしている。最近、人口増・税収増となっているが、市長として、増やしたいのは、まさに市民の安心である。
- ・ 一人ひとりの市民が暮らしやすい、本当に居心地が良いと思っていただけるまちを作ることが重要である。そういったまちづくりを進めることで、明石に住みたい、明石で子どもを育てたいと思っていただけ、人口増が実現するものと思っている。

- ・そういったまちこそが、暮らしやすいまちとして賑わいが生まれ、元気なまちになり、税収増が実現する。一番大事なことは一人ひとりの市民に対して精一杯向き合うことだと思っている。
- ・今年度の市民意識調査の結果において、91.2%の市民が明石のまちが住みやすいと言っていたことは大変ありがたいが、9割を超えたから良いという発想ではなく、残りの8.8%の市民は住みやすいとまだお答えいただけていない。こうした市民にもしっかりと光を当てて住みやすい比率を高めていく発想が重要であると考えている。
- ・この審議会は、一定回数は開催するが、時間に限りがあるので、この会議体のみならず、様々な形でそれぞれの分野、それぞれのお近くの方のご意見を汲み上げていただき、多様な民意を反映することが必要だと強く思っている。
- ・例えば、年齢、性別、障害、国籍といったことについて、できるだけ多様性を重視する方向で考えており、委員構成も20歳の公募市民も出席していただけており、今回は欠席だが、18歳の高校生も委員に入ってもらっている。性別や障害も含めてしっかりと多様性を受け止めていくまちづくりを目指していきたいと考えているので、ご理解いただきたい。

#### 4 審議会委員及び市出席者の紹介

#### 5 会長・副会長の選出

- ・事務局から、坂下会長・中野副会長、井上副会長とする案を提案し、了承。

##### (会長)

- ・僭越ではあるが、自分が暮らしている大好きな明石市で、市政全体の計画、長期計画を考えていくことができるということは、チャレンジングな嬉しいことだと思い、お引き受けさせていただきたい。
- ・皆様のお力添えをいただきながら、このSDGsという世界のグローバルスタンダードをこの明石市で実現していきたいと考えている。
- ・このメンバーを見ると明石市の意気込みが感じられる。形だけの審議会も正直あるが、この審議会は、市長も出席していただけており、私達が出した意見を実現、具現化していただけるのではないかと期待している。
- ・堅苦しくならず、皆さんがそれぞれの思いを発言できる場になればいいと考えている。井戸端会議的なものとして皆さんが意見を出し合い、そして市長にぶつけて実現をしていってもらえればと考えている。
- ・是非、皆様のお力をお借りしながら、一人も取り残さない、そして、インクルーシブな市を作っていけたらと思う。

## 6 議 事

### 【報告事項】

#### (1) 本市の状況（好循環）について

※事務局から資料説明（資料1）

##### （A 委員）

- ・確かにこの数字を見ると本当に好循環であると思う。また、明南町でも多くの家が建ち、子どもたちの声が聞こえるようになって良いなと思う。
- ・しかし、家が建つというのは近くの田や畑を売って、業者がそのまま開発をしているので道幅が確保できていないところもあるように感じる。
- ・大久保に散歩に行くと、とても細い道に多くの家が建っている。子どもたちが通学しているとき、車が来ると近くの家にへばりついて避けているような所を何回か見かけ、子ども達の安全に疑問がある。
- ・また、近所に認定こども園や保育所が2軒ほど建っているが、中身が見えているのか心配に思うことがある。

##### （市長）

- ・ご意見のとおり、物事には光と影があり、先程は良い面ばかりを説明していたが、当然、人が増えることに伴い課題も増えてくる。大きく3点強く意識していることがある。
- ・一つ目は、子どもを中心に人口が増えているが、その分、待機児童や小学校の過大校の問題も出てきている。あわせて、今後は学童保育についても更なる量的確保が必要となってくる。
- ・二つ目として、家が増えてくると交通渋滞や、都市基盤整備の問題も出てくるので、道路渋滞の解消や通学路の安全もあわせて取り組む必要性を強く感じている。
- ・最後に三つ目は、新しい住民が多く入ってくると新旧の方々の交流の問題もあるので、地域交流というような課題も意識していく必要がある。

##### （B 委員）

- ・市長が努力され、子育て世代が多く転入していることはとても良いことだと思う。
- ・しかし、今の赤ちゃんや幼児が成人をされて、転出されないように、今からでも十分に対策を立てる必要があると思う。
- ・明石駅は最近とても賑やかになってきており、外国の方も見ることもあるが、他の地域は寂しく感じる。
- ・二見に二見臨海工業団地があるが、もう少し工場があると若者が外に行かずに定着して、明石で働こうという意欲につながるのではないかと思う。

(2) 「(仮称) あかしSDGs推進計画(第6次長期総合計画)」の策定(概要)について  
※事務局から資料説明(資料2)

(C委員)

- ・SDGsについての説明を聞き、理解が深まった。他市でもSDGsを推進しているところがあるのか知りたい。

(事務局)

- ・すでにいくつかの市で推進しており、例えば、静岡市や近くの大阪市でも、SDGsを積極的に進めている。
- ・しかし、SDGsを長期総合計画に位置付けていくことは、まだそれほど多くないと考えている。

(C委員)

非常に良い方向であるかと思うので、続けていただきたい。

(市長)

- ・SDGsは、2015年から国際社会の目標となり、国においても相当力を入れている。
- ・特に昨年あたりから、力を入れており、SDGs未来都市という認定制度が始まっている。しかし、兵庫県内では、まだどこも認定を得ていない状況であり、明石市としては、国に申請を上げていきたいと考えている。
- ・なお、環境のテーマについては、例えば気候変動の非常事態宣言を全国で初めてあげた長崎県壱岐市や鎌倉市などは、すでにSDGs未来都市の認定を得ている。SDGsの理念に基づき、地球環境に対する取組を実施しており、明石市も検討している最中である。

(A副会長)

- ・大阪市が昨年あたりからSDGsの具体的な取組をまとめる中で、例えば、小学生の活動がSDGsとどう関係しているのかをうまく説明されている。
- ・市民の皆さんは、SDGsがどういうことなのか、おそらく言葉も分からない、具体的にどういうことなのかも分からないのではないかと。まず、SDGsという、この抽象的な概念を市民に分かっていただくことが大切だと思う。
- ・この総合計画もSDGsの計画期間が同じというタイミングをうまく利用されている。新しい計画に取り組むときはタイミングがとても大切である。同じ持続可能というテーマを掲げている東京オリンピック・パラリンピックとともに、国民の関心、市民の関心が大きな一つの目標に向かっている、このタイミングを利用して、こう

いうことを考えて実現するのだということを示す一番良い時期である。

#### (A 委員)

- ・持続可能な目標を実現するために「いつまでも すべての人に やさしいまちづくり」の中に、エネルギーや環境の問題というのが少し抜け落ちているのではないかと感じた。
- ・地球温暖化や気候変動が進む中で、市民がどのように省エネルギーに取り組むのか、ゴミを出さない生活をしていくのかは、本当に難しい問題である。こうした問題は環境部門で把握されていると思うが、ここには反映されていないのではないかと感じた。
- ・市民が取り組めるような見本を示してもらい、市民が省エネルギーに対して相談に行けるような明石市になってほしい。電気がいつもあることに私たちは慣れてしまっているが、大災害が起こったとき電気がつながらないというような状況もあり、自分たちでなんとかしないとイケないということを市民が自覚できるような、そういう市にしてほしいと思う。
- ・私は、この地球温暖化によって、例えば、オーストラリアやカリフォルニアの火災や、水害などを考えた場合、飢饉が来るのではないかとということも心配している。
- ・明石はせつかく西の方に農業もあり、酪農もあり、養鶏もあり、南の海では素晴らしい水産資源が獲れ、そういう第一次産業にもう少し取り組んでほしい。明石の地産地消、明石の食料は明石で作るくらいのことを考えて、はじめて気候変動に強い持続可能なまちになるのではないかと考える。

#### (市長)

- ・環境についてできることは数多くあると思っており、現在が十分できているとは思っておらず、問題意識を持っている。
- ・明石市はレジ袋の削減に向けて早い段階から事業者との協定を結び、できる限り減らしていく方向で進めてきた。
- ・現在も気候変動の非常事態宣言について、検討している最中であり、そういった動きも踏まえて更に取組を加速していく方向であり、環境面についても目玉となる施策に関して、皆さんのお知恵をお借りしたい。

#### 【審議事項】

##### (3) 第5次長期総合計画の検証について

※事務局から資料説明 (資料3)

**(D 委員)**

- ・今から 10 年程前までは、障害があることを隠し、外出しても障害者ではない顔をしなければならなかった。
- ・しかし、最近は、手話言語条例や障害者配慮条例など、いろいろな障害者に対する配慮施策が取り入れられ、障害者が「私は、障害者です」ということを声に出せる明石になってきた。インクルーシブ条例の検討が進んでくると、本当に障害者が安心して生活や社会参加できると思う。本当に良い明石になってきたと思う。
- ・インクルーシブやSDGs の言葉が先になっているが、その考え方が、市民にしっかり伝わると、障害者や高齢者が本当に安心できるまちになると思う。

**(会長)**

- ・名前をどう市民に浸透させていくかが課題であるという指摘であった。

**(E 委員)**

- ・子ども達の未来が非常に心配になっている。現在、明石では人口が増えており、税収も増えており、すべての目標が達成されていると思うが、これからだんだん人口が減り、税収が減っていくと、格差ができてきて、高齢者、障害者や子ども達に対するサービスが低下するのではないのか危惧している。
- ・人口減少による影響を踏まえた計画となるのか。

**(市長)**

- ・SDGs の重要なポイントの一つは「持続可能性」であり、今だけ良ければ良いというわけではなく、財源の確保が大変重要になってくるので、議会とも相談しながら、施策展開したものは継続性をしっかりと考えながら対応していく。
- ・次年度予算についても、国の無償化による財源の範囲の中で、さらに施策展開をしていくつもりであり、「持続可能な施策」というのは強く意識していきたいと考えている。

**(B 委員)**

- ・最近、広報あかしでもSDGs が取り上げられているが、お年寄りには分かりにくいのではないかと。先日、銀行に行った際、SDGs に関する取組のパンフレットが置いてあった。お年寄りや多くの人が集まる場所に、SDGs に関するパンフレットを設置してはどうか。

#### (4) 「(仮称)あかしSDGs推進計画(第6次長期総合計画)」の考え方について

※事務局から資料説明(資料4)

##### (A 委員)

- ・SDGsの環境面の深刻化について、明石市がすごく考えていることに、感謝している。
- ・近年、気候変動や極端な環境、災害があると感じていた。昨年の台風15号や19号、その後の状況を考えて、今年の冬も雪が全く降らない状況で、全国的に雪解け水を灌漑に利用しているお米が本当にできるのか。また、これだけ暖かい冬だと夏はどうなるのか。
- ・今まで、明石は台風も通らない温暖で良いところと思い住んでいたが、最近の災害を見ると局地的に竜巻が起こったり、集中豪雨が降ったり、恐ろしい状況になってきていると感じている。
- ・環境面における危機を深刻に受け止める必要があるのではないかと考えており、そういった計画を考えていただきたい。

##### (A 副会長)

- ・SDGsは、高齢者の方に分かりにくいので、説明すべきと申し上げたが、新年度予算の資料では、インクルーシブという言葉が説明付きで記載されており、このように、市民が直感的に理解できないような言葉を分かりやすいように変えていくべきだと思う。
- ・食品ロスの対策としてフードドライブがある。家で食べきれず余っている食べ物のうち、安全なものを持ち寄って必要な方に食べていただくというのがフードドライブである。それを国民に広げようとしたが、フードドライブという用語そのものが理解できてなくてうまくいっていない。言葉が分からないのに一生懸命やってくださいと言っても理解不能なので、わかりやすい言葉に置き換えて市民に伝えていく必要がある。

##### (会長)

- ・用語の普及に関して、今の時点で事務局で何か考えられていることはあるか。

##### (市長)

- ・周知方法として、広報あかしの1月15日号、2月1日号でSDGsを含めた広報を実施している。できれば、次の2月15日号も本日の審議会を含めてしっかりと明石がSDGsの理念に基づいて、まちづくりすることを発信していきたい。
- ・市議会のほうでも、去年は高校生議会という形で議会と高校生が一緒になって

SDGsというコンセプトで催しも実施されている。さらに、市民に理解していただけるよう周知する必要があると考えている。

- ・分かりやすさに関して、SDGsそのものを日本語に置き換えるのは大変困難であり、インクルーシブも説明が難しく、逆に、置き換えることで、さらにわからなくなるのも困る。
- ・現時点では「持続可能」に関して「いつまでも」、「インクルーシブ」や「誰一人として取り残さない」については、「すべての市民にやさしい」、「パートナーシップ」については「まちのみんなで」というように工夫しているが、もっといい案があればご意見をお願いしたい。

#### (会長)

- ・市としてはまちづくりの理念として、「いつまでも すべての人に やさしいまち」というキャッチフレーズで表現している。言葉は、すごく大切であるので、何かいいご提案があればお願いしたい。

#### (F委員)

- ・SDGsがなかなか浸透しにくい、分かりにくいという意見があった。配布資料の「新年度の予算案の基本的な考え方(案)」の左下にあるイメージ図がぱっと見てこういうのがSDGsなのだということが分かりやすい。
- ・「いつまでも」や「持続可能」は分かりやすいと思うが、4つのキーワードの中の「やさしい」という言葉がものすごく多く、少し抽象的すぎて違う言葉で表現したほうがいいのか。「やさしいまち」を目指すのはいいが、具体的にどういうことなのかがわかりにくいと感じた。
- ・明石のいいところは、ちょっと都会、ちょっと田舎であることだと思う。明石は非常に狭いが、片側は全部瀬戸内海に囲まれて海に面している。森もあり、緑もあり、ため池もあり、川もある。こうした豊かな自然環境が、市民意識調査にあった明石が住みやすいと感じられる理由ではないかと考える。
- ・気候非常事態宣言とリンクするところではあるが、実際に「自然にやさしく」や「うみのまち」として、大きい骨太の施策みたいなものが必要ではないか。
- ・気候非常事態宣言と関係していることでは、防災面だと思う。小学校区のまちづくりに取り組んでいるが、地域での意識が高まっており、各小学校区単位で取り組んでいこうとしている。
- ・SDGsの表現方法だが、平面的に3つあって、真ん中でみんなが繋がっているのだが、もう少し立体的・三次元的な表現の方法もあるではないか。環境省の木をモチーフにした図や、フィンランドのヨハン氏が表現している階層図とかが、個人的には分かりやすいと感じた。



(市長)

- ・キーワードは大変重要だと思っている。現時点では「いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで」という言い方をしているが、さらに工夫の余地はある。
- ・SDGsやインクルーシブに関して、「配慮」と訳したほうがいいのか、「支えあい」、「分かち合い」、「分け合い」など色々な言葉がある。個人的には「安心」とか「大丈夫」もあると思う。表現方法は大事なので、委員の皆さまからご意見賜りたい。
- ・環境面の重要性をご指摘いただいたが、環境と経済と社会を3つに分けて議論したほうがいいのか、それとも、全部がつながっていて、環境に力を入れたほうが社会は暮らしやすくなり、経済も持続可能な形になっていくという、環境対経済的な対立構造ではなくしっかりつながっているという見せ方がいいのかについて、ご意見いただきたい。

(F委員)

- ・3層みたいな形で環境と経済と社会があり、環境というのがベースで一番大事なところではないかと思う。それがすべて社会の問題、経済の問題につながっているのではないか。そういう構造のほうがいいのではないかと個人的には思う。

(会長)

- ・対立構造ではなく、有機的につながっているという世界観が重要だと思う。ほかに皆様のほうからご意見ご質問等があればお願いしたい。

(G委員)

- ・今電車に乗ると男の人がSDGsのバッジをつけており、バッジは気になるが意味がわからないという市民が多いのではないか。市民の方の注目を集めるために、17色のドーナツは何を表しているのかを説明することで、興味をもってもらえるのではないか。
- ・阪急電車や東京の電車でも、SDGsのアイコンを良く目にする。明石市も予算を取って、しっかりと市民に知ってもらう必要があるのではないか。

(H委員)

- ・20年しか生きていないのでわからないことも多いが、よく考えてみると環境があって、そこに私たちが生きていて、その上で社会が成り立っているという観点は必要ではないかと感じた。
- ・やさしい共生社会としては、障害者の人が排除されるというのは以前の話で、今は

インクルーシブとか社会的包摂が言われているので、そういった人たちと学生や子どもを持たない夫婦たちなど、色々な人が市や地域でのまちづくりなどにつながれたらいいのではないかと思う。

(会長)

- 明石の未来を創っていくことになるので、皆さんのいろいろなご意見を反映して良いものを作っていきたいと考えている。何かご意見があれば、常時事務局にお願いしたい。また、今回は総合計画の素案ということでご意見をいただいたが、次回は、もう少し具体的な案を事務局より提示していただき、検討していきたい。次の会議の資料が送られたら、お目通しいただき、会議では言いにくいなと思われること、忌憚なき意見もまた事務局に寄せていただければというふうに考えている。本日はこれで閉会とする。

## 7 閉 会